NIE実践報告

1．タイトル：☆「フィディアさんをみんなへ」学んだことを発信しよう

2．学校名

長野県長野市立東部中学校

3．実践者名（代表者名）

牛山英人（報告者　片山洋一）

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　36人

6．単元（本時の学習課題）名

「フィディアさんをみんなへ」

7．目標(狙い)

タンザニアから嫁ぎ、人種差別を受けながら、自分らしく生きているフィディアさんから、その生き方を学び、他の人に発信することができる

8．評価の視点

・フィディアさんの生き方に学び、学んだことを発信しようとしたか
・新聞形式を使い、相手意識を持ってまとめることができたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「フィディアさんをみんなへ」総合的な学習の時間　17時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①人種差別の実態を知り、学級テーマを決め出す（2時間）
②新聞記者から取材の仕方を学ぶ（1時間）
③フィディアさんを訪ね、取材をする（4時間）
④フィディアさんから学んだことをまとめ、さらにグループで課題を決めだす（3時間）
⑤課題に沿って調べたことをまとめる（5時間）
⑥学校や地域の方に発表し、まとめをする（2時間）

（留意点）
・取材のポイントや新聞での効果的な表現方法について、実際に新聞記者の方からお話を聞き参考にさせる。
・人権教育を柱に据えながら、ダイナミックな単元展開を図る。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・フィディアさんさんに実際に出会った生徒たちは、その人柄に惹かれ、追究を深めていった。
・新聞記者からの話は、取材の方法やまとめ方について大いに参考になった。

12．成果と課題

・フィディアさんとの出会いをきっかけに、ダイナミックな単元の展開をしながら活動できたことはよかった。生徒たちが、学んだことを強く人に伝えたい（発信したい）と考えるようになり、3学期には、地域の文化ホール（ノルテ長野）で、新聞形式で発信することができた。
・生徒自身が、より相手に伝えたという気持ちになれるよう。情報を得るための手段としての新聞活用を考える必要がある。
・日常的に新聞に親しめるよう、教科の枠を超えて新聞の活用を考えたい。